

吉田忠生：ワカメヤドリミドロ (新称) の分布と宿主 Tadao YOSHIDA: Distribution of *Streblonema aecidioides* around Japan and its host

秋山 (1977) は東北地方の養殖ワカメの「やどりみどろ病」を報告した。この病害はワカメ葉体の処々に暗褐色の円形の斑ができるもので、この斑紋はふつう直径 10 mm 以下であるが、時に 15~20 mm となって中心部のワカメ葉体組織が抜け落ちて孔があくこともあるので、ワカメの商品価値を低下させる。その後 YOSHIDA and AKIYAMA (1979) はこれがワカメヤドリミドロ (新称) *Streblonema aecidioides* (ROSEN- VINGE) FOSLIE の寄生によって引き起されていることを示した。この時はこの種が福島県以北のみに分布すると述べた。この種の原因地がグリーンランドで宿

主が *Laminaria groenlandica* であることから、比較的北方性の種であると考えていた。各地で注意していると、福島県よりも南の地域でも、ワカメの古くなった個体には、しばしばこの種の寄生が見られることがわかった。また宿主もワカメだけでなく、同属のヒロメも宿主となっている。これまでに確認した産地を挙げると、北海道ノサップ岬 (スジメ); 岩手県大船渡 (ワカメ); 宮城県江ノ島および松島湾 (ワカメ); 福島県いわき市 (ワカメ); 三重県御座 (ワカメ, ヒロメ); 高知県須崎 (ヒロメ); 長崎県野母崎 (ワカメ); 山口県青海島 (ワカメ); 北海道忍路 (ワカメ, スジメ) である。これを図示すると Fig. 1 のようになり、殆んど日本全域に広く分布すると思われる。宿主の範囲もヨーロッパでの *Laminaria groenlandica*, *L. longicruris*, *L. saccharina*, *L. digitata*, アメリカにおける *Hedophyllum sessile* と異なり、日本ではスジメ *Costaria costata*, ワカメ *Undaria pinnatifida*, ヒロメ *Undaria undarioides* で寄生を確認した。ホンメコンブやアントクメでは見られなかった。

スジメでは本種の寄生によって顕著な病斑を作ることはない。ワカメ、ヒロメの自生の葉体では末端部近くに円形の斑として寄生が認められる。しかし養殖ワカメの葉体にみられる様なはっきりした暗褐色斑となったり、その部分が崩壊して孔があいたりすることはまだ見ていない。この様な差がどうして生ずるのか興味あるところである。(060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目 北海道大学理学部植物学教室)

引用文献

- 秋山和夫 1977. ワカメの「やどりみどろ病」(予報). 東北水研研究報告 (37): 39-40.
YOSHIDA, T. and AKIYAMA, K. 1979. *Streblonema* (Phaeophyceae) infection in the frond of cultivated *Undaria* (Phaeophyceae). Proc. Intl. Seaweed Symp. 9: 219-223.

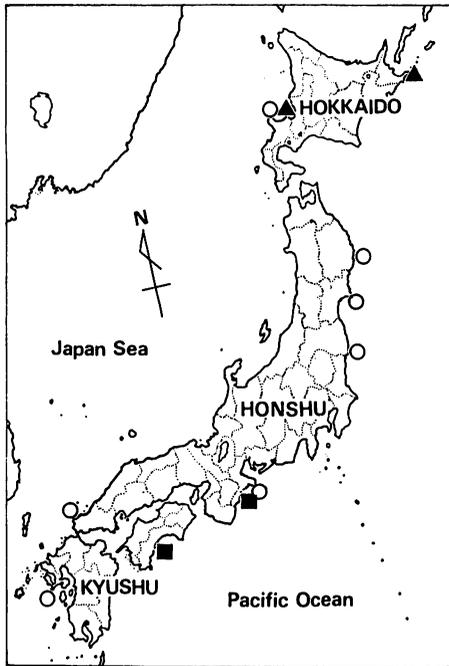


Fig. 1. Distribution of *Streblonema aecidioides* in Japan. Host species are shown by different symbols: \blacktriangle *Costaria costata*, \circ *Undaria pinnatifida*, and \blacksquare *U. undarioides*.